

いわて震災詩歌 2018 短歌募集のお知らせ

東日本大震災及び震災以降の情景や心の動き、復興や暮らしをテーマに、未来に向けての思いなどを詠った、未発表の『短歌』を募集します。震災を直接体験してなくても、被災者や被災地への思いが伝わる作品や若い世代から見、感じた作品も歓迎します。

お寄せいただいた作品の中から選考した作品（最優秀作品 1 篇、優秀作品 9～10 篇程度、入選約 20 篇、佳作数篇、選者選歌数首）を、平成 30 年 3 月発行予定の歌集「いわて震災詩歌 2018」へ掲載します。さらに、掲載作品の中から数篇を、平成 30 年 3 月 11 日開催の「震災と短歌、そしてコミュニティづくりへ」をテーマにしたフォーラムの中で、短歌朗詠劇として上演いたします。

＜応募方法＞

応募作品 応募作品は 1 篇 5 首とし、冒頭に題名と氏名を明記すること

応募用紙等 A4 判原稿用紙（400 字詰）または、インターネットによるメールでも受付可。但し、全て縦書きとし、メールは Word による添付文書とする。

添付書類 次の事項を明記した別紙を添付し用紙右上をホチキス止めとする。

- ① 作品題名 ② 筆名（本名） ③ 生年月日・年齢
 - ④ 職業または学校名 ⑤ 住所・電話番号
 - ⑥ 岩手県在住以外の方は、岩手県との関り合いを付記。
- 応募資格** 岩手県在住者、在住経験者、岩手出身者など岩手ゆかりの方（被災地支援・復興支援のため来県された方も含める）

募集期間 ～平成 29 年 11 月 30 日（消印有効）

選考結果発表 平成 29 年 12 月～平成 30 年 1 月を予定

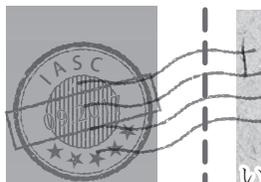
選考委員 八重嶋勲氏（岩手県歌人クラブ会長）
池田克典氏（前岩手県文化振興事業団理事長）
吉田史子氏（岩手県歌人クラブ幹事）
斎藤 純 氏（作家）

※既発表作品（新聞・雑誌・結社誌・同人誌及びインターネット等電子媒体による発表を含む）が応募作品に含まれている場合や他の短歌公募への二重投稿は入選を取り消すことがあります。尚、応募作品は返却しません。

◆応募先・問合せ◆いわてアートサポートセンター・肴町事務所内「いわて震災詩歌 2018」係 TEL.019-604-9020 / kaze@iwate-arts.jp

主催 特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター

共催 岩手県歌人クラブ



いわてアートサポートセンター

【2018 年 5 月・6 月開催】 寺山修司演劇祭 参加団体 募集！

いわてアートサポートセンター風のスタジオで 5 年おきに過去 2 回開催してきた「寺山修司演劇祭」。来年 5 月・6 月に第 3 回目を開催することが決定しました！

「寺山修司演劇祭」とは・・・ 寺山修司の没後 35 年を記念し、長年盛岡で寺山作品を上演してきた「劇団赤い風」など複数の団体が寺山にゆかりのある作品を上演します。東北出身の優れた劇作家・寺山修司を同じ東北の地で追悼するとともに、いつまでも色褪せることのない寺山作品に再会する演劇祭です。

2018 年 5 月・6 月に開催する「寺山修司演劇祭」の中で、寺山作品を上演していただける参加団体を募集しています！演目は、寺山作品はもちろんのこと、寺山修司に関係する創作作品でも可です。寺山修司への愛が、想いが、その作品に満ち溢れていれば、どんな作品でも大歓迎です！
役者として、スタッフとして、「寺山修司演劇祭」に参加していただける個人の方も募集しています！寺山修司を愛している方、是非お気軽にご連絡ください！

問合せ：いわてアートサポートセンター・肴町事務所
TEL.019-604-9020 / kaze@iwate-arts.jp

発行者 特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター

【本部】

〒020-0874 盛岡市南大通 1 丁目 15-7 南大通ビル 3 階
TEL (019)656-8145 FAX (019)656-8146
E-mail info@iwate-arts.jp URL http://iwate-arts.jp

【肴町事務所・風のスタジオ】

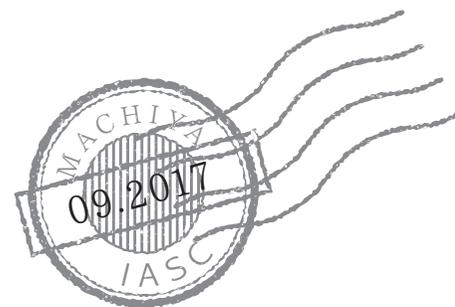
〒020-0878 盛岡市肴町 4-20 永卯ビル 3 階
TEL (019)604-9020 FAX (019)604-9021
E-mail kaze@iwate-arts.jp URL http://iwate-arts.jp
〈窓口営業時間〉火・水・金 10:00～18:30 木・土 10:00～17:00
〈施設利用可能時間〉9:30～21:30

【もりおか町家物語館】

〒020-0827 岩手県盛岡市鉾屋町 10-8
TEL (019)654-2911 FAX (019)654-2913
E-mail machiya@iwate-arts.jp URL http://machiya.iwate-arts.jp
〈開館時間〉9:00～19:00（最終入館 18:30）※浜藤ホールのみ利用時は 21:30 まで
〈休館日〉毎月第 4 火曜（休日の場合はその翌日）年末年始 12/29～1/3
〈入館料〉無料。※一部企画展は有料の場合があります。

◎プレイガイドをご利用下さい！

肴町事務所・風のスタジオ窓口と、もりおか町家物語館案内所には、プレイガイドを設置しております。販売手数料 5%（消費税込み）で、イベントチケットをお預かりしています。直接ご来館のうえ、職員にお声がけください。



もりおか町家・風の通信 9 月号

いわて震災詩歌
2018 短歌募集
開始しました。

MACHIYART2017
町家のアート動物園
9 月 2 日より開幕！





MACHIYART 2017 町家のアート動物園

「動物」をテーマに美術展を開催!

招待作家に、蒲生 卓也、菊池 咲、佐野 美里、高橋 和彦、高橋 真菜、宮古 和香菜。
〈盛岡彫刻シンポジウム〉や〈公募作品〉など、館内各所に作品を展示します。

会期 9月2日(土)～9月25日(月)
開催時間 9:00～18:00 会期中無休

会場 もりおか町家物語館
大正蔵2階 時空の展示室
風の広場、館内各所

入場料 一般 300円、小・中学生 100円
未就学児・障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの介護者(1名まで)は無料

高橋和彦 公開制作

関連企画

日時 9月10日(日) 9:00～12:00, 14:00～16:00
場所 当館・大正蔵2階 時空の展示室

予約不要 (直接会場にお越しください。／本展の観覧料が必要です。)

3.11 絵本プロジェクトいわて

出張絵本サロン おはなし会

日時 9月17日(日) 11:00～11:30
場所 当館・大正蔵2階 時空の展示室

参加無料／予約不要 (直接会場にお越しください。)

※9月17日(日) 9:00～13:00 は展覧会の観覧料が無料です。

動物の絵本の特別展示 (当館文庫蔵 絵本の小部屋)

主催 特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター
共催 盛岡市、盛岡彫刻シンポジウム実行委員会
助成 芸術文化振興基金
協力 3.11 絵本プロジェクトいわて、社会福祉法人自立更生会盛岡杉生園

MACHIYART2017 町家のアート動物園開催 & 来場者30万人達成記念記念品プレゼント

もりおか町家物語館は、累計来場者数30万人突破いたしました！これを記念して、9月2日(土) 9:00から、時空の展示室にて町家のアート動物園入場者先着50名様に記念品をプレゼントします。

事業報告

町家のお化け屋敷～呪われた神社を救え～



今夏で3回目となる「町家のお化け屋敷」は、呪われた神社が舞台でした。特徴は、ストーリー性のあるミッション型お化け屋敷。神社に取り憑いた妖怪を退治するために、お札をゲットし、ラストは「妖怪、妖怪、なんか用かい？悪霊退散！」

と呪文を叫び、妖怪を退治します。期間中は、たくさんの勇者のみなさんが妖怪退治に来てくれました。特に、ちびっこ勇者のみんな、泣きながらも最後まで頑張る姿は輝いていたよ。これで、町家の妖怪たちもしばらくは大人しくなるかな・・・？

JAZZピアニスト「北島貞紀」の 町家フライマリー JAZZ 講座

日時 9月29日(金) / 10月27日(金)
19:00～20:00 (開場 18:30～)

講師 JAZZピアニスト 北島貞紀氏

定員 各回30名 (要予約)

会場 もりおか町家物語館 浜藤ホール

受講料 各回1,500円 (コーヒー付)

申込み 電話またはメールにて以下をお知らせください。

①ご希望の回 ②お名前(漢字表記/フリガナ) ③年齢 ④ご連絡先電話番号

問合せ もりおか町家物語館 Tel.019-654-2911 Mail.machiya@iwate-arts.jp



カフェ DOMA

営業 11:00～16:00

定休 毎週火・水曜日

※営業時間外も、施設開館中は見学可能です。

※臨時休業の場合もございます。営業時間はホームページ等でご確認ください。

◆9月10日(日)はお休み

◆9月よりコーヒーチケット発売! 10枚で2,000円

◆カフェ DOMA にも「町家のアート動物園」の展示があります♪

リレーコラム No.17 「MACHIYART2017」

毎年、恒例になりつつある「MACHIYART」。今年は、「町家のアート動物園」と、10月16日から開催の「盛岡彫刻シンポジウム 野外展」との豪華2本立てです。

「MACHIYART」は、2014年のもりおか町家物語館開館の際に、「盛岡町家+ART イベント」として、盛岡町家を活用し、来館者にアートを楽しんでもらうことを目的に企画されました。昨年、2年ぶり2度目の開催をし、今年が通算3度目の開催となります。これまで滞在制作や展示、ワークショップ等の多様な取り組みをおこなってきました。名前の由来は、盛岡町家の「MACHIYA」と「ART」をくっつけた造語で、「まちやーと」と読みます。

さて、「町家のアート動物園」、テーマは「動物」です。なぜ、動物か?と聞きますと、身近であり、親しみやすく、けれど尊い存在と思うからです。「美術」もまた、そうだと思います。

動物園や図鑑の動物たちは、想像を膨らませ、ワクワクさせてくれます。家族のように人と一緒に暮らすペットたちは、癒し、命の大切さを教えてくれます。山に住む野生動物は、どこか荘厳でカッコよく、憧れさえ抱いてしまいます。食物として血肉となってくれる動物たちには感謝が尽きません。様々なかたちでわたしたちと関わりのある「動物」、それらを表現する作家たち。この展覧会が、「動物」をテーマにした作品を通して、美術に親しみ、多くのことに思いを馳せる機会となることを願っています。

出展作家には、東北地域の若手や障がいのあるアーティスト。盛岡彫刻シンポジウムの野外展示や、幅広く公募した作品の展示もあります。盛岡町家や蔵という独特の展示空間と美術作品の共鳴もお楽しみいただければと思います。関連企画もあり、盛りだくさんの内容です。

この秋、是非、もりおか町家物語館にご来場ください!

もりおか町家物語館 学芸員/運営ディレクター
千葉真利